

市財政の長期的展望について



石橋 達八 議員
(無会派)

問 市が管理する施設数や維持管理費の将来的傾向、大規模改修や改築の時期、税収の見通しをシミュレーションする仮称「遠野市公共施設白書」を作成し、公開できないか。

答 公共施設の整備管理については、公共施設ロングライフ事業など、効率的な維持管理に取り組んできた。現在、当市が管理する施設は637施設あり、その維持管理費だけでも年間約2億6,900万円になっている。質問にあった「白

書」の作成には、施設ごとの資産価値とコスト計算ができて初めて整理できることから、公会計の整備が前提になる。平成21年度から貸借対照表など財務諸表等を作成し、公表してきた。参加する全国市長会でも、今は合併の話は陰を潜め、このことが話題にもなり、身の丈に合った自治体運営の話になる。今後、計画的に固定資産台帳の整備を進める中で、公共施設の整備管理をより効果的に行う方向で検討する。

問 来年度から総合食育センターが稼働する。食育について、これまで健康福祉部が担当してきた部分と、新たな食育センターが担う部分はどうなるのか。食育推進計画の具体的推進や、食の安心・安全の新たな基準、市民の食育に関する意

答 センターと健康福祉部の関係は、「食育推進計画」に基づき、関係機関と市民との連携を図るパイプ役と位置付け、家庭・教育現場・地域・生産者、事業者・センターの役割を明確にした。食材の安全性については確保されている。市民の食育に対する意識調査については、食育推進関係機関と連携を図りながら検討したい。

問 公共施設や学校の耐震化基準に含まれない「非構造部材」の総点検や、安全対策は大丈夫か。

答 平成22年度に公の施設等、緊急施設点検を実施し、対応が必要な607か所中、平成24年3月末までに585か所の対応が完了してい

る。残り22か所は急を要しないが、改修計画に併せて対応を予定している。学校施設・地区センター等においては、安全点検の慣習化

を推進するため、「市有施設安全マニュアル」を策定し、指定管理者及び小中学校の施設管理者に周知徹底している。



宮守体育館の現状